

地域包括ケアシステムの今後について

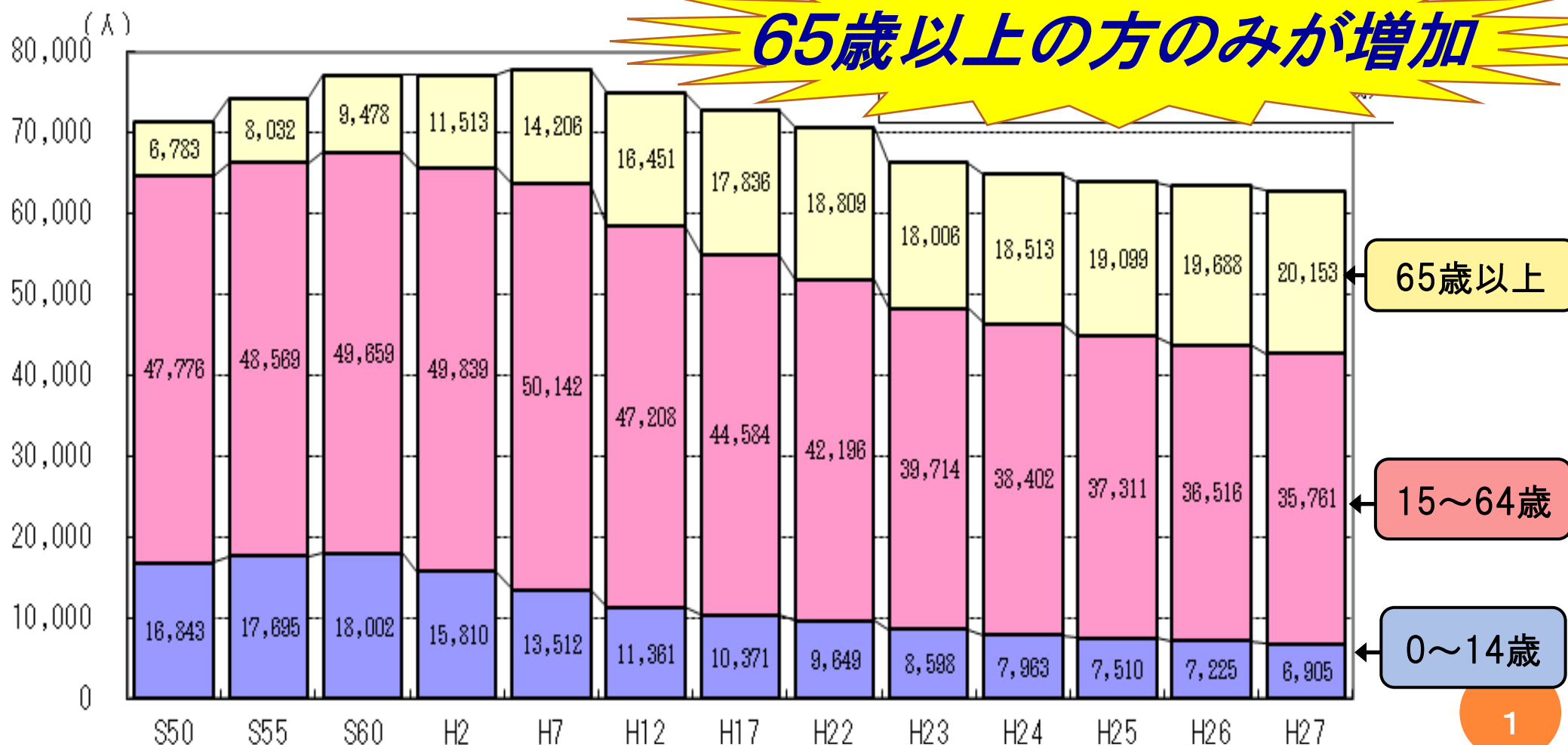
地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で安心して、暮らしているよう、医療・介護・生活支援・介護予防・住まいが一体的に提供される体制のことで、2025(平成37)年を目途に進めていくことが求められている。

平成29年7月14日

南相馬市健康福祉部長寿福祉課

1 南相馬市の高齢者を取り巻く現状

(1) 年齢別人口

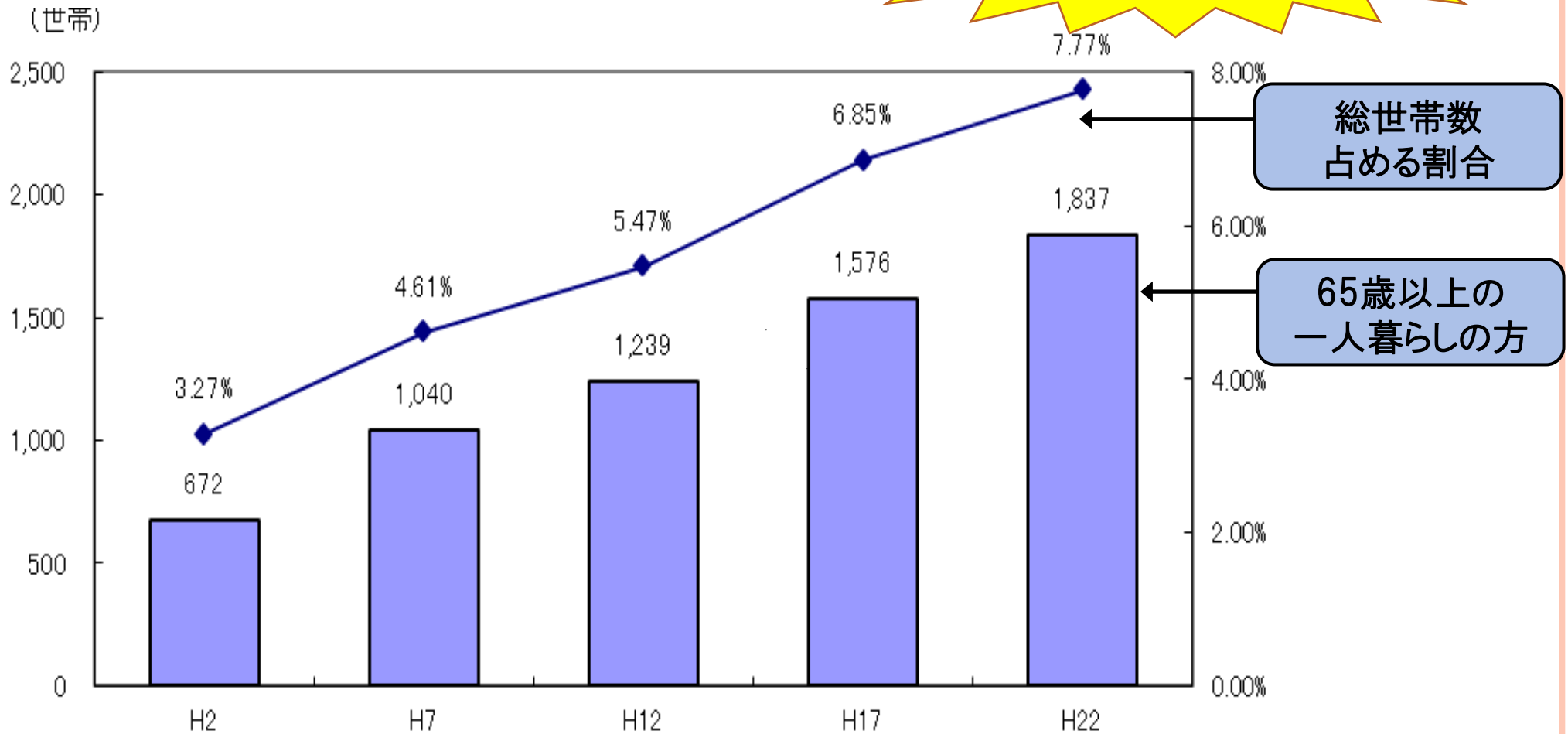


出典：S50～H22は国勢調査・H23～27は10月1日現在の福島県現住人口調査

※H17以前は小高町・鹿島町・原町市の合算 総数が(1)と一致しないのは年齢不詳があるため

(2) 高齢者のお一人暮らし

生活支援を
必要とする方の増加



H23年2月 2,515世帯(10.5%)

H28年5月 3,222世帯(13.5%)

出典：国勢調査を基に計算
H17以前は小高町・鹿島町・原町市を合算
(住民基本台帳を基に計算)

2 高齢者が住み慣れた地域での生活継続

- ① 在宅医療・介護連携の推進
- ② 認知症施策の推進
- ③ 多職種連携による高齢者への対応
- ④ 生活支援サービスの充実・強化

3 市が始めた主な取り組み

(1) 介護職員不足に対する対応

- ① 介護職員初任者研修講座を無料で開催
- ② 介護職員合同就職面接会の開催
⇒ 事業所と求職者が一堂に会する場を設定
- ③ 全小中学校において介護教室を開催
⇒ 介護のすそ野の拡大



(2) 介護予防事業の充実

① 地域住民が自主的に集い交流する場 「サロン」の立ち上げ、継続支援



② 認知症初期集中支援チームの設置

⇒ 医師、保健師、介護福祉士等の専門チームによる、認知症の人やその家族に対する早期対応



(3) 助け合いの普及・啓発

① これまでの各団体活動の継続

⇒ その団体に活動している高齢者にとっては、社会参加という生きがい、介護予防につながっている。

② ちょっとした生活支援、お手伝い

⇒ お近所で困っている高齢者に対して、ちょっとした生活支援、お手伝いをしていただけませんか…。

例：ゴミだし、電球取替 等